

2022年12月11日(日) 関東学院教会 アドヴェント第三主日礼拝 説教要約

ルカによる福音書 2章8-20節 「飼い葉桶の中に」 高橋彰

◆羊飼いと天使

8 その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群れの番をしていた。9 すると、主の天使が近づき、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。10 天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。11 今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。12 あなたがたは、布にくるまって飼い葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つけるであろう。これがあなたがたへのしるしである。」13 すると、突然、この天使に天の大軍が加わり、神を賛美して言った。14 「いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、御心に適う人にあれ。」15 天使たちが離れて天に去ったとき、羊飼いたちは、「さあ、ベツレヘムへ行こう。主が知らせてくださったその出来事を見ようではないか」と話合った。16 そして急いで行って、マリアとヨセフ、また飼い葉桶に寝かせてある乳飲み子を探し当てた。17 その光景を見て、羊飼いたちは、この幼子について天使が話してくれたことを人々に知らせた。18 聞いた者は皆、羊飼いたちの話をも不思議に思った。19 しかし、マリアはこれらの出来事をすべて心に納めて、思い巡らしていた。20 羊飼いたちは、見聞きしたことがすべて天使の話したとおりだったので、神をあがめ、賛美しながら帰って行った。

聖書 新共同訳(C) 日本聖書協会 Japan Bible Society, Tokyo 1987, 1988

神の子イエス・キリストの誕生については、マタイもルカも、特別な現象が起きたとは記していません。特異な存在としてでなく、一人のいのちが誕生するのと同じように、イエスは人としてこの世に生まれました。ルカによる福音書は、そのイエスの誕生を世界の歴史の中に意味づけ、また神の民イスラエルが待望し続けて来た救いの約束と結びつけて紹介しています。

イエスが生まれた夜の出来事を、ルカによる福音書は羊飼いたちへの天使の告知という仕方でも印象深く記します。物語のような心温まるストーリーの中に、ルカはイエスの誕生によって神が何をなされようとしておられるのかを伝えようとしています。そのモチーフは「貧しさと逆転」と言えます。1章のマリアの記事と共通しています。

「羊飼い」は旧約において肯定的なイメージで描かれます。「主は羊飼い」(詩編23)とあるように神を語るイメージとしても用いられます。旧約の指導者たちアブラハム、モーセ、ダビデも羊を飼う者でした。新約でもイエスを「良い羊飼い」と紹介します(ヨハネ10章)。しかし、イエスの時代当時、社会では羊飼いは貧しい環境に置かれ、周囲の人から蔑まれていました。ラビ文献「ミシュナー」などでも羊飼いは強盗や野蛮人と同列に置かれ否定的に描かれ記されています。この世の周辺に置かれる存在にされてしまっているが神のイメージともされた羊飼いたちに、最初に救い主の誕生が告げられまい。羊飼いたちは飼い葉桶の中に寝かされた幼子との出会いの喜びに与り、それを拡散して伝える者たちとなされました。

「救い主、主メシア(キリスト)」と、幼子を紹介する言葉は、ローマ皇帝アウグストゥスについて流布していた称号であったことが、小アジアで発見された「プリエネ碑文」にも記されています。

ローマ帝国の初代皇帝となったオクタウィアヌスは自ら「神なる者」という意味である「アウグストゥス」と名乗り、「神なるアウグストゥスの誕生の日は、この世における福音・朗報の始まりである」と刻まれました。ローマ帝国は強大な軍事力による帝国支配を世界各地で、パレスチナでも行い、それを「ローマの平和」「福音」「朗報」として宣言したのでした。福音書は同じ言葉を、たった一人の名もなき幼子によって神は成し遂げられると語ります。生まれた時から家畜小屋に追いやられ飼い葉桶の中に寝かされるしかないような境遇から、神は救いの業を成し遂げられました。救いは誰よりもまずこの世の小さな者たちからもたらされる、しかし一部の人びとにだけでなくすべての人びとに開かれている。その貧しさと逆転の告知は、直面した人びとには「大きな恐れと驚き」(9節、1:12-13, 29-30)です。しかし喜びに変えられます。

わたしが家畜小屋の飼い葉桶というしるしを、素朴な物語でなく、衝撃として、その真理を知らされたのは、滋賀県にある施設「止揚学園」の元園長、福井達雨さんの話を聞いた時です。1954年、同志社神学部で学ぶ福井さんは知能に重い障害を持つこどもたちと初めて出会い、共に生きることを決意し、施設設立に尽力します。各地に捜し尋ねて行ったこどもたちは、物置、屋根裏、家畜小屋の穴の中に閉じ込められていたそうです。激高する福井さんに親は涙を流して「この子たちはこの穴の中に入れている時だけがこの子の命を守れるのです」と訴えたそうです。この子を穴に入れるよう追い詰めているのはこの社会と自分だと悟り、差別をされた人たちに謝ろう、共に生きようと、1962年に止揚学園を設立しました。60年の働きをされ、福井さんは今年9月、天に召されました。